

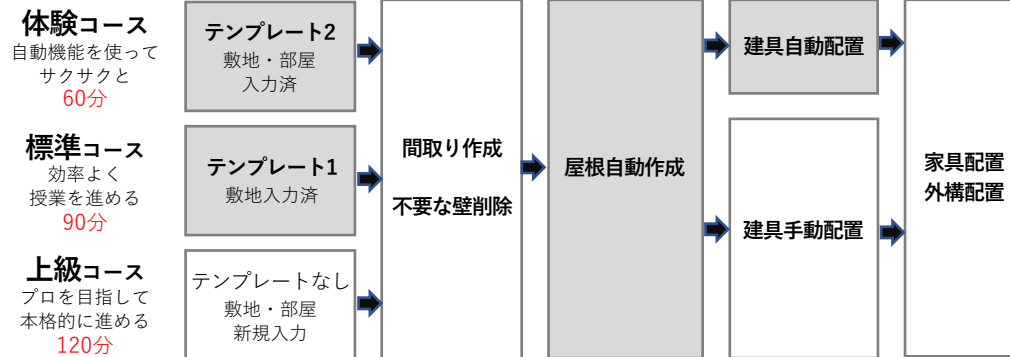
3Dマイホームデザイナーを使うと 高校「建築計画」の授業がこんなに楽しくなった



目次

1	平面計画	
1-1	与条件の整理	1
1-2	ソフトの立ち上げ／テンプレートを開く	2
1-3	部屋を配置する	2
1-4	部屋のサイズを調整する／室名を変更する	3
1-5	その他の部屋も配置する	3
1-6	各部屋をグループ分けする	3
1-7	外構エレメントを配置する	4
1-8	思い付いたアイデアを形にしてみる	4
1-9	部屋の配置と形状を整える	5
1-10	不要な壁を削除する	6
1-11	屋根を作成	7
1-12	3Dで確認	8
1-13	建具配置	11
1-14	設備機器の設置	12
1-15	家具配置	13
1-16	外構計画	14
1-17	内観・外観の3Dチェック	15
1-18	パース・レンダリング	16
2	チェック機能の利用	18
3	将来計画を検討する	21
4	完成のイメージを体験する	22

この教材の使い方



東京都市大学元教授 河村 容治

コラム：色々な案を試してみて、3Dで外観を確認する	9
コラム：建具一括配置	11
コラム：ガイド線	20

1 平面計画

1-1 与条件の整理

作業に入る前に、前提となる条件を確認しましょう。

敷地条件

敷地面積：328㎡

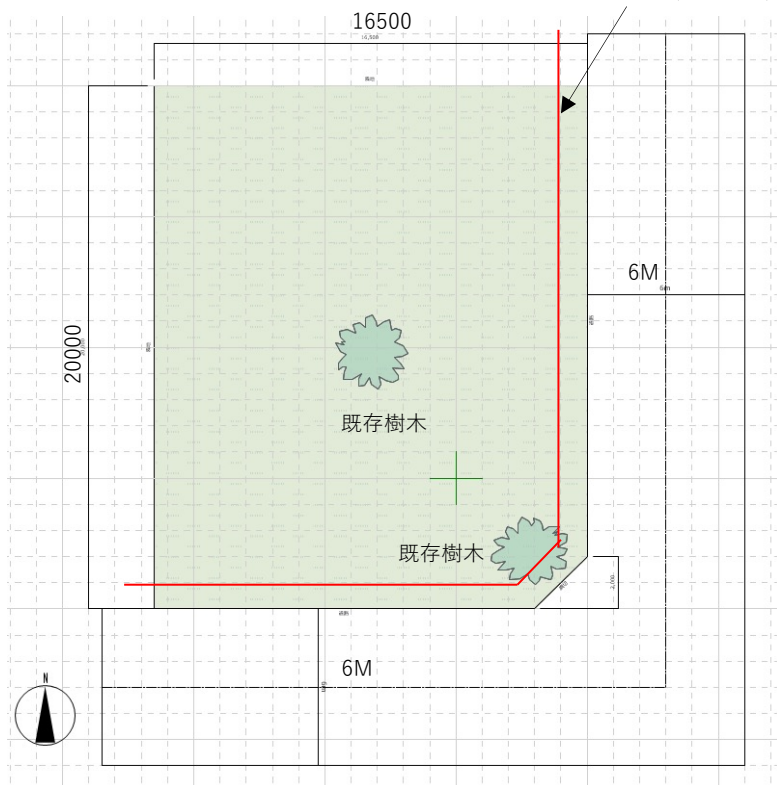
用途地域等：第一種低層住居専用地域 壁面後退：1m

建築基準法第22条区域（屋根不燃）

建蔽率 角地緩和を利用して50%→max164㎡

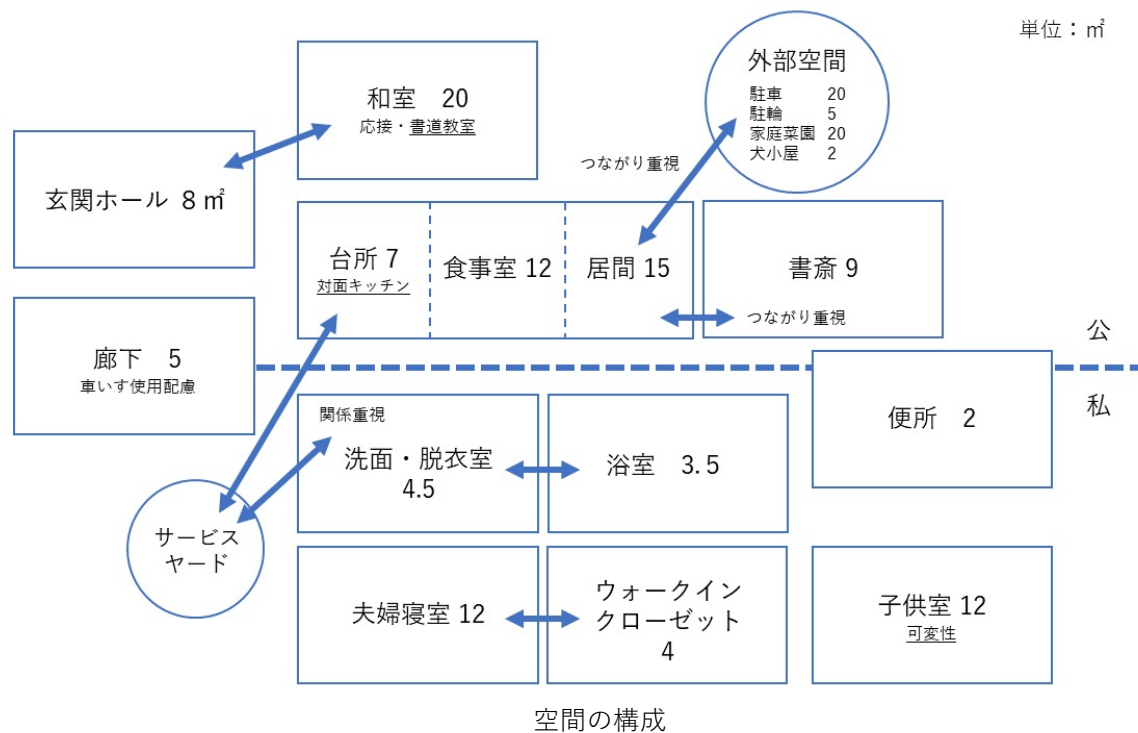
容積率 80%→max262.4㎡

道路より壁面後退（庇は除く）



家族構成と将来計画

	現在	将来計画
夫	35才 会社員	
妻	35才 書道教室講師	
長女	7才 小学1年	6年後に独立した子供部屋にする
長男	5才 幼稚園児	6年後に独立した子供部屋にする
妻の父	61才 会社員	10年後に同居
妻の母	57才 主婦	10年後に同居



メモ

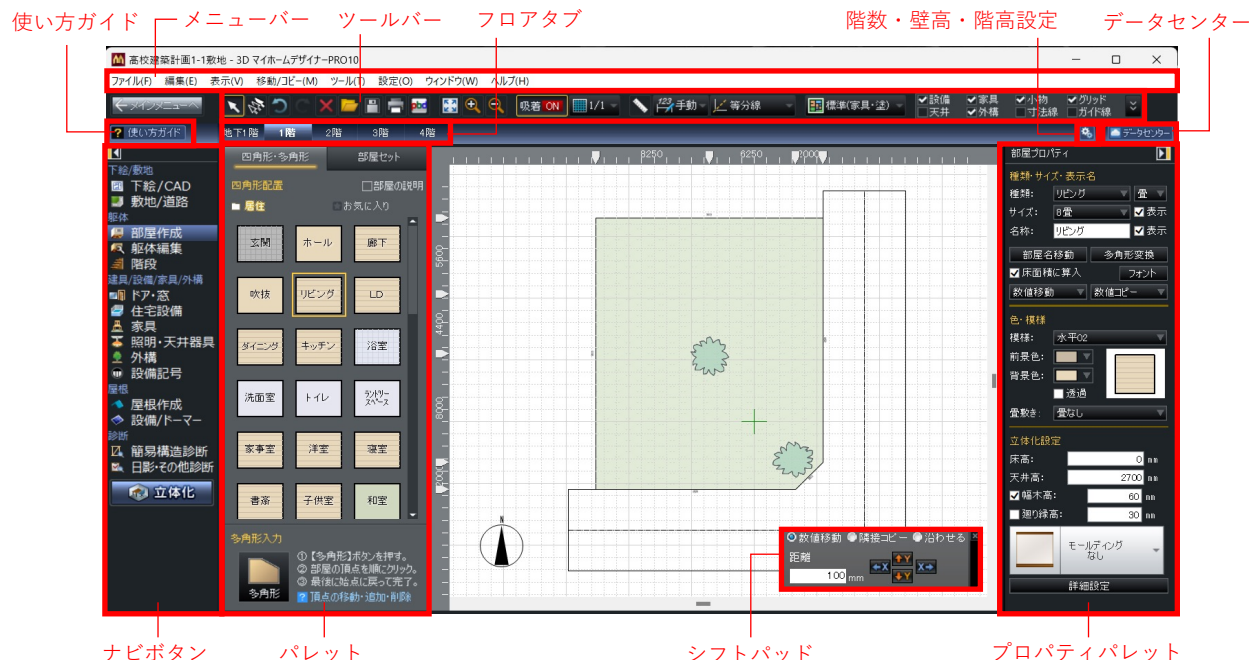
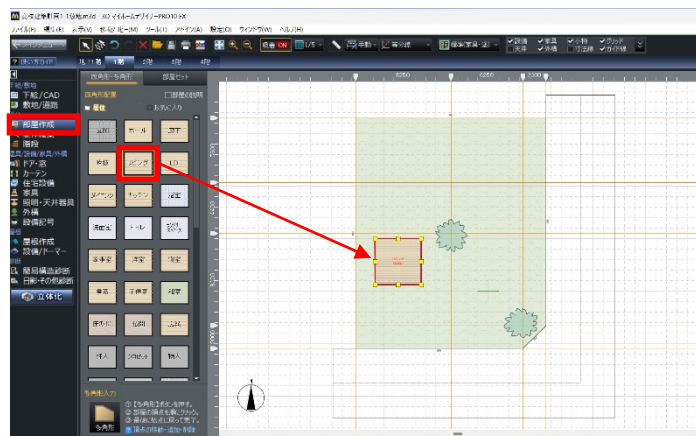
1-2 ソフトの立ち上げ／テンプレートを開く

- ① ソフトを立ち上げます。
- ② 「メインメニュー」から、「ファイルを開く」をクリックします。
- ③ 「テンプレート1」を開きます。



1-3 部屋を配置する

「部屋作成」から「リビング」を選び、作業画面の適当な位置をクリックします。部屋は自由に移動できます。



上級コースはテンプレートを使わず、敷地の配置から始めます

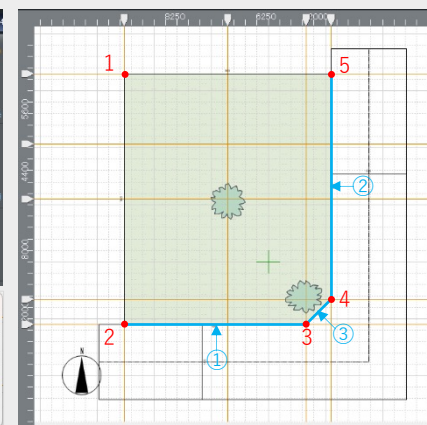
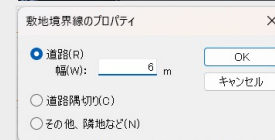
メインメニュー／新規作成／戸建てタイプ
／メーターモジュール (1m) 選択

敷地入力 (多角形での入力)

- ① ガイド線を引きます。(コラム参照)
- ② 「敷地/道路」を選択します。
- ③ 「多角形・三斜入力」タブの「多角形」を選択します。
- ④ 頂点を順番にクリックします。

隣地・道路設定

- ⑤ 「隣地・道路」を選択します。
- ⑥ ①の辺をクリックし、敷地境界線のプロパティの「道路」を選択し、「幅：6m」としてOKします。
- ⑦ ②の辺も同様に設定します。
- ⑧ ③の辺は「道路隅切り」に設定します。(既存樹木の配置は、1-16を参照)



メモ

1-4 部屋のサイズを調整する／室名を変更する

配置した部屋を条件に合うように「部屋プロパティ」で変更します。

- ① 居間の要求条件は15㎡なので、配置した部屋のサイズを調整します。
「部屋プロパティ」の「サイズ」から「任意」を選びます。
「幅：4000」はそのまま、「奥行：3750」とします。

※ 部屋のサイズはマウスで自由に変更できますが、正確に変更したい時はこの方法を用います。

- ② 部屋の名称を「リビング」から「居間」に変更します。

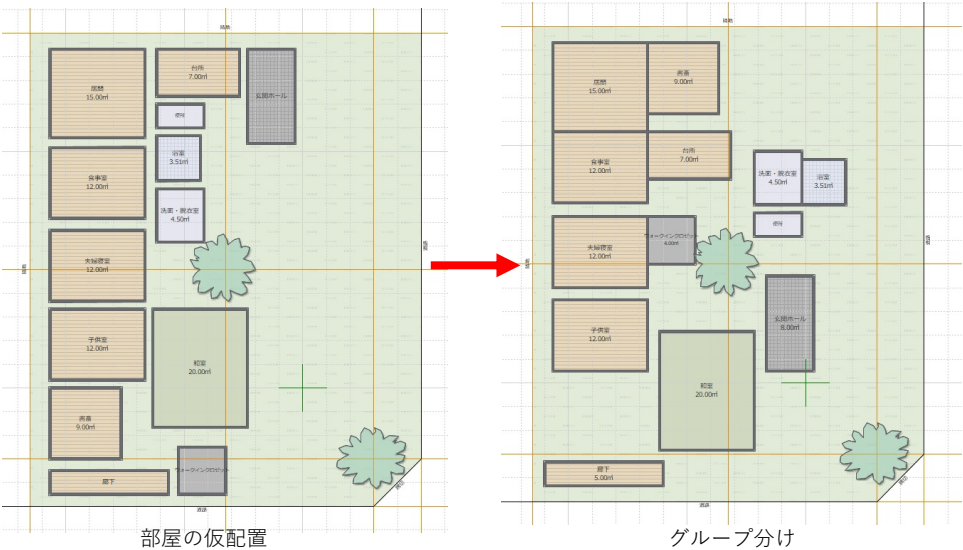


1-5 その他の部屋も配置する

居間と同様に各部屋を仮に敷地に配置して、要求条件のサイズに調整し、名称も必要に応じて訂正します。

(参考例)

部屋名	サイズ	幅	奥行
玄関ホール	8㎡	2000	4000
廊下	5㎡	5000	1000
和室	20㎡	4000	5000
台所	7㎡	3500	2000
食事室	12㎡	4000	3000
書斎	9㎡	3000	3000
洗面・脱衣室	4.5㎡	2000	2250
浴室	3.5㎡	1850	1900
便所	2㎡	2000	1000
夫婦寝室	12㎡	4000	3000
ウォークインクローゼット	4㎡	2000	2000
子供室	12㎡	4000	3000



1-6 各部屋をグループ分けする

部屋のつながりを考えて、グループ分けします。

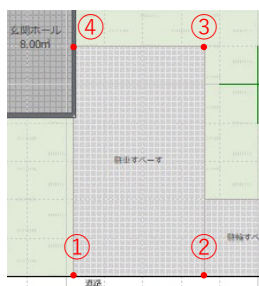
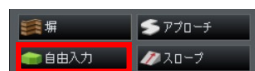
1-1「与条件の整理」参照

メモ

1-7 外構エレメントを配置する

- ・犬小屋（ホワイトモデルN01）
「外構」>「エクステリア」>「添景」から「ホワイトモデルN01」を選択して配置します。パーツプロパティで、W：2000、D：1000、H：1000と指定します。
- ・駐車スペース（外構形状）20㎡ 3.4m×6m 高さ50mm
「外構」>パレットの「自由入力」を選択します。
始点から順に頂点をクリックしていき、最後の点（④）をクリックした後に右クリックまたはダブルクリックします。GLからの高さ：50
- ・駐輪スペース（外構形状）
5㎡ 2.5m×2m 高さ50mm
- ・家庭菜園（外構形状）
20㎡ 4m×5m 高さ50mm

駐車スペース



犬小屋



1-8 思い付いたアイデアを形にしてみる

部屋を移動したり並び替えて、住宅の全体のイメージを作ります。
変更はいくらでも可能です。

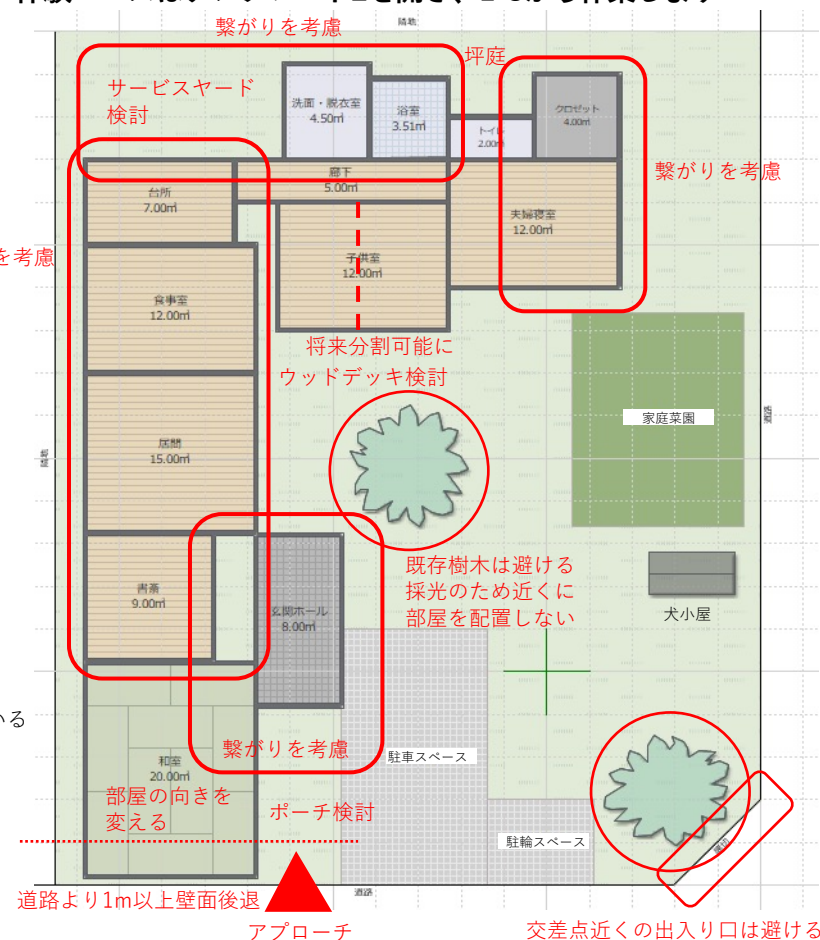
ポイント

- ・既存樹木は避ける : 道路から壁面を1m以上後退する
- ・部屋の繋がりを考慮 : 台所・食堂－居間－書斎
寝室－クローゼット
浴室－洗面・脱衣室－サービスヤード
- ・居間／寝室 : 日当たりやプライバシーを考慮する
- ・子供室 : 将来分割できる作りにする
- ・和室 : 玄関とのつながりが重要、
書道教室の生徒が玄関から直接入れるのが望ましい
- ・アプローチ : 交差点は避ける（安全上）、敷地東側道路または南側道路から

F型案特徴

- ・南側からのアプローチ
- ・○日当たりが全体に良い
- ・○洗面・脱衣とサービスヤードとの連絡
- ・○プランが明快でシンプルにまとまっている
- ・○南東にまとまった庭が取れる

体験コースはテンプレート2を開き、1-8から作業します



必要に応じて、以下の空間エレメントも配置します。

- ・サービスヤード（ランドリースペース） 幅：2600、奥行：1850
- ・坪庭（ランドリースペース） 幅：1850、奥行：750
- ・ポーチ 幅：2000、奥行：4000、床高：-560、屋根をつけるに✓を入れます。
- ・ウッドデッキ 幅：1250

メモ

1-9 部屋の配置と形状を整える

平面をすっきりさせるため、各部屋の寸法や向きを調整します。

- ① 隣地から900～1000あけます。
- ② 家具の配置をイメージしながら部屋のプロポーションを調節します（1-4参照）。
- ③ 必要に応じて、部屋を回転します。
- ④ 必要に応じて、廊下を追加します。

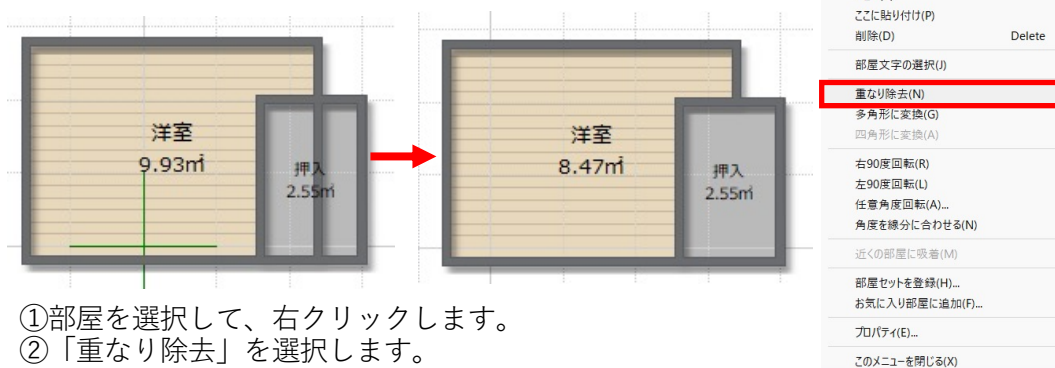


部屋を回転する



- ① 部屋を選択して、「移動/コピー」メニューをクリックします。
- ② 「回転移動」 > 「左90度回転」を選択します。

重なった部屋の重なり部分を除去



- ① 部屋を選択して、右クリックします。
- ② 「重なり除去」を選択します。

平面の密度をアップする

1. 和室の密度アップ（床間、押し入れ、広縁配置）
2. 玄関周り調整し（土間とホール区分）、玄関近くにトイレ増設：和室（書道教室）の利用者用
将来、和室を両親の部屋に改装することも見越して配置

メモ

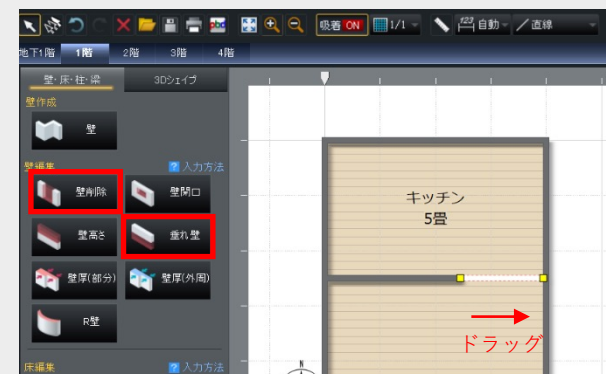
1-10 不要な壁を削除する 部屋のつながりを考えて、不要な壁をあらかじめ削除します。

- ① 「躯体編集」 > 「壁削除」を選択します。
- ② 不要な壁をクリックすると壁が削除されます。
- ③ 続けて、残りの不要な壁も削除します。

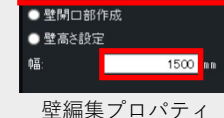


壁の一部を削除する

- ① 「壁削除」を選択します。
- ② 壁を削除したい範囲をドラッグします。
- ③ 「壁編集プロパティ」で開口幅を数値で指定します。



壁削除の範囲がずれる場合は、「吸着 OFF」にしてから、ドラッグします。



壁の一部を垂れ壁にする

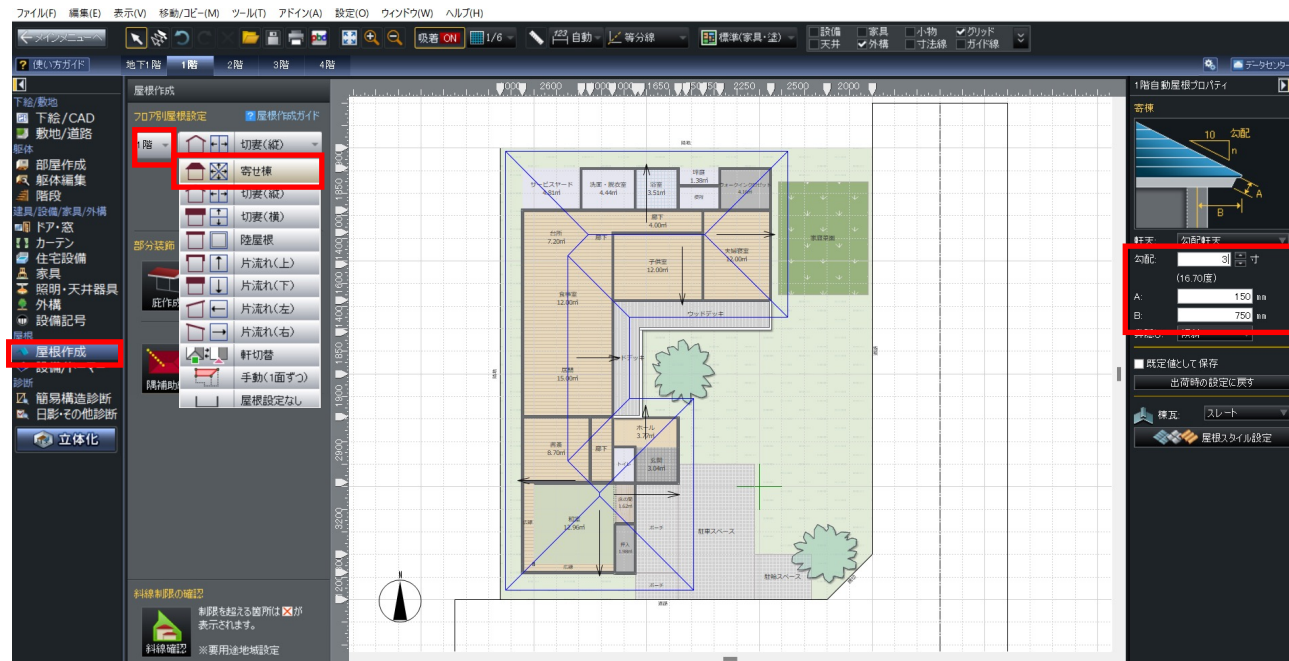
- ① 「垂れ壁」を選択します。
- ② 垂れ壁にしたい範囲をドラッグします。
- ③ 「垂れ壁プロパティ」で壁の高さを数値で指定します。



メモ

1-11 屋根を作成

- ① 「屋根作成」をクリックします。
- ② フLOOR別屋根設定で屋根を作成するフロア「1階」を指定します。
- ③ 屋根形状から「寄せ棟」を選択します。
- ④ 1階自動屋根プロパティに数値を入力します。
勾配：3寸
B：750（軒出）
- ⑤ 屋根が自動で作成されます。



自動屋根の種類

軒の出（B）や勾配がイメージを大きく変えます。雨の多い日本では、3寸勾配より少なくすると雨漏りの原因になります。

自動で作成されるいろいろな屋根を比較し、プランに合った屋根を選びます。
ここでは寄せ棟、切妻、陸屋根が候補になり、その中でも寄せ棟が美しい外観になる予感がします。



寄せ棟



切妻（縦）



切妻（横）



陸屋根



片流れ（上）



片流れ（下）



片流れ（左）



片流れ（右）

メモ

1-12 3Dで確認

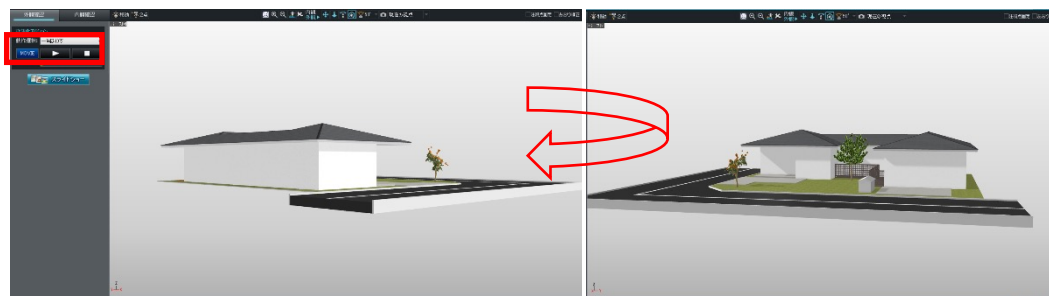
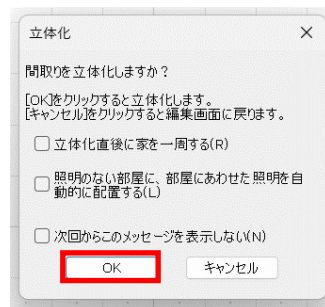
間取りを立体化することで、出来上がりのイメージを確認できます。

- ① 「立体化」ボタンをクリックします。



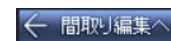
- ② メッセージが表示されたら「OK」をクリックします。

- ③ 立体が表示されます。
立体化アクションの▷を押すと、外観の360°を動画で見ることができます。



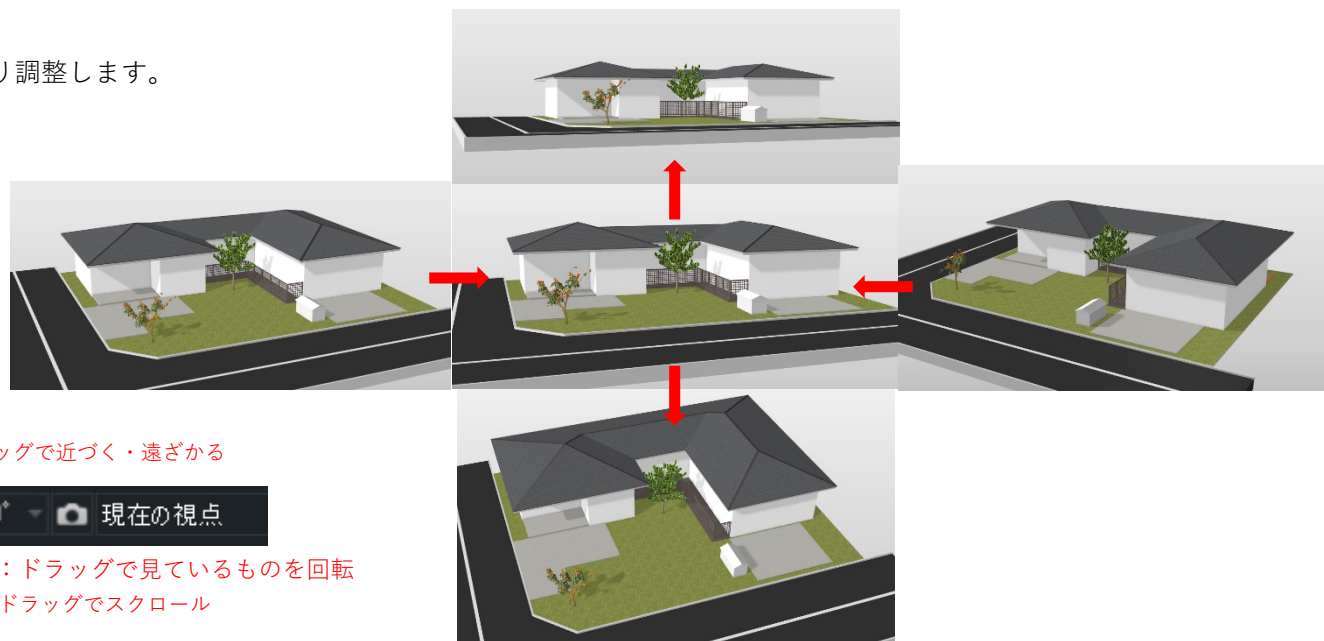
寄せ棟

注：間取り編集画面に戻るには、「間取り編集」をクリック

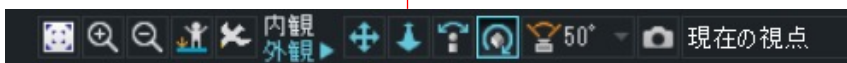


視点の操作1 外観確認

「視点変更ツール」を使用して、視点を移動したり調整します。



視点変更ツール



ズーム：ドラッグで近づく・遠ざかる

スクロール

回転：ドラッグで見ているものを回転
見回す：ドラッグでスクロール

メモ

色々な案を試してみて、3Dで外観を確認する 1

【アプローチ 1：既存樹木を中心にを部屋を取り囲む】

C-1型案

陸屋根
モダンなイメージ

特徴

- ×和室が玄関と接続なし
- △居間の日当たり
- 寝室の日当たり
- △全体に凹凸が多い
- 公私の分離が明確
- △庭が分散

C-2型案

切妻（縦）

特徴

- 寝室、子供室、居間、和室の日当たり
- △玄関と和室の接続（土間とホールの関係が悪い）
- △全体に凹凸が多い
- 公私の分離が明確

中庭案

切妻
ダイナミックな外観

特徴

- ・南側からのアプローチ
- ・駐車場にも屋根をつける

C-3型案

寄棟
複雑な外観

特徴

- 和室と玄関の関係が良い
- △居間の日当たり
- 寝室の日当たり
- △全体に凹凸が多い
- 公私の分離が明確

C-4型案

切妻
中庭の日当たりが心配

特徴

- 和室と玄関の関係が良い
- 寝室と和室の日当たり
- △居間の日当たり（中庭が狭いため）
- プランがよく整理されている
- 南側に庭が集中

コンパクト案

切妻
シンプルな外観

特徴

- プラン全体がコンパクトによくまとまっている
- 南側にまとまった庭が残る

メモ

色々な案を試してみて、3Dで外観を確認する 2

【アプローチ 2：既存樹木の 3 方向をコの字型に取り囲む】

逆サ型案

切妻
バランスの良い外観

特徴

- △寝室の日当たり
- ×和室の玄関との接続
- ×居間から洗面・脱衣に入れない
- 平面の形状が整っている
- 南東にまとまった庭が残る

L型案

切妻
シンプルな外観

特徴

- △寝室の日当たり
- △洗面・脱衣とサービスヤードとの連絡
- △食事室、居間、書斎の部屋のプロポーショナル
- プラン全体がシンプル
- 南東にまとまった庭

コの字-2案

寄棟
南側の壁面が揃うと外観が単調になる

特徴

- コの子-1案の子供室と寝室を入れ替える

サ型案

切妻
ダイナミックな外観

特徴

- 和室と玄関の関係が良い
- 洗面脱衣・台所とサービスヤードとの関係が良い
- ×居間から洗面・脱衣に入れない
- △寝室の日当たりが悪い

コの字-1案

切妻
シンプルな外観

特徴

- ×子供室が居間食堂から離れている

コの字-3案

寄棟
南側の壁面が雁行

南側外観 夕景

- コの子-1案を発展
- 水回りを修正

メモ

- ① 「ドア・窓」をクリックします。
- ② 「玄関ドア」>種類「玄関片・両袖」>サイズ「幅1000~1500」を選択します。
- ③ リストから「玄関両袖A_R05」W1235×H2330を選択
- ④ ドアを配置する箇所をクリックします。
- ⑤ ドアの開閉方向を指定します。（この場合図の1を選択）
同様に他の建具も配置します。



必ずしも例に示された建具を配置する必要はありません。
気に入った建具を試してください。

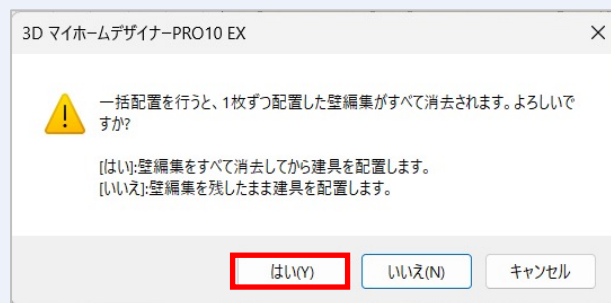
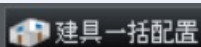


11

建具一括配置

自動で建具を配置し、修正すると楽です。

- ① 「建具一括配置」をクリックします。
- ② 注意表示 はい
- ③ スタイルを選択 OK
- ④ 自動で建具が配置されます。
- ⑤ 不要な建具があれば削除し、必要に応じて建具を追加します。



1-14 設備機器の設置

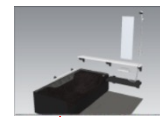
- ① 「住宅設備」をクリックします。
- ② 「キッチン」>種類「I型キッチン」>サイズ「幅2500～3000mm」を選択します。
- ③ リストから「CUキッチンAA02」W2550×D650×H2360を選択します。
- ④ 作業画面の適当な位置をクリックして配置します。
- ⑤ 向きや位置を調整します。



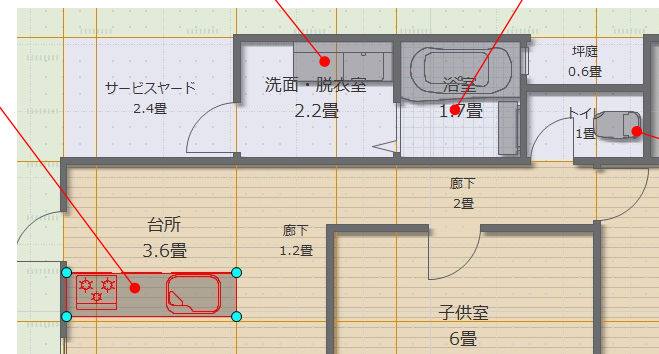
キッチン/
I型キッチン
CUキッチンAA02
W2550 D650 H2360



洗面／洗面台
LXセンメン台AB02
W1500 D600 H2000



バスルーム/
CUバスルームAA01
W1600 D1600 H2209



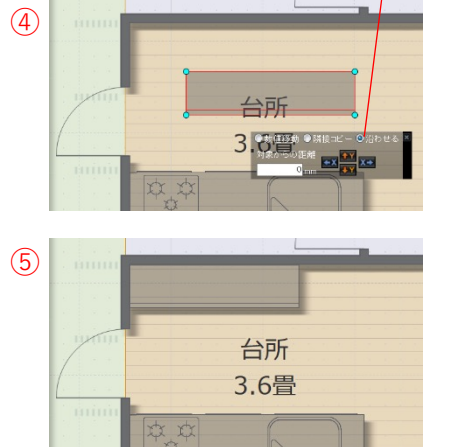
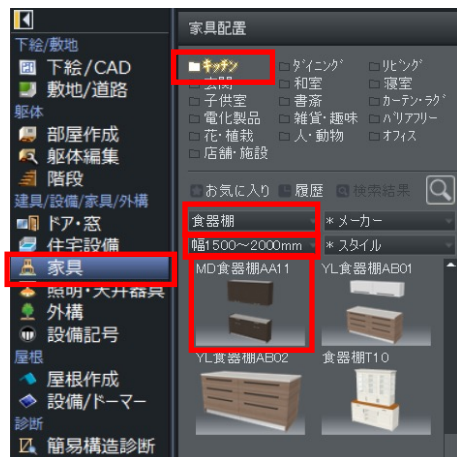
トイレ/
洋式便器
LXトイレAB01
W400 D705 H540
玄関トイレも同じ

洗面台、トイレ、浴室も同様に配置します。

メモ

1-15 家具配置

- ① 「家具」をクリックします。
- ② 「キッチン」>種類「食器棚」>サイズ「幅1500~2000」を選択します。
- ③ リストから「MD食器棚AA11」W1840×D470×H2350を選択します。
- ④ 作業画面の適当な位置をクリックして配置します。
- ⑤ 向きや位置を調整します。



シフトパッド

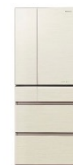
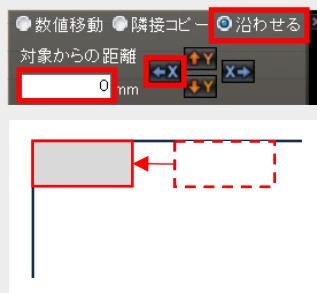
シフトパッドを使って、家具を壁に沿わせる

- ① 家具を選択状態にします。
- ② シフトパッドの「沿わせる」にチェックを入れて、対象からの距離を「0mm」とします。
- ③ 沿わせたい方向の矢印ボタンをクリックすると、壁に沿わせることができます。

●沿わせる（上）



●沿わせる（左）



電化製品／
キッチン家電（大型）
MS冷蔵庫X06
W685 D692 H1828



キッチン／食器棚
CU食器棚Z06
W1200 D450 H2360



電化製品／
家事家電（大型）
洗濯機R01
W685 D692 H1828



子ども室／
子供用ベッド
子ベッド08
W785 D1250 H950



キッチン／
食器棚
MD食器棚AA11
W1840 D470 H2350



ダイニング／
ダイニングセット
TY食卓Z01
W1800 D1952 H830



リビング／
リビングセット
TMソファセット002
W2590 D1620 H770



書斎／
書斎机・椅子
ツクエ72
W155 D267 H800



書斎／
書斎机・椅子
チェア492
W594 D571 H770



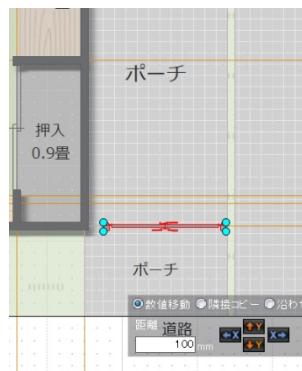
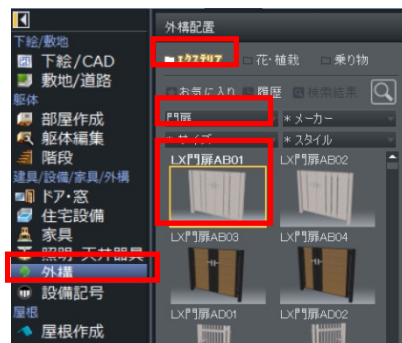
F型案

寸法の変更はありません

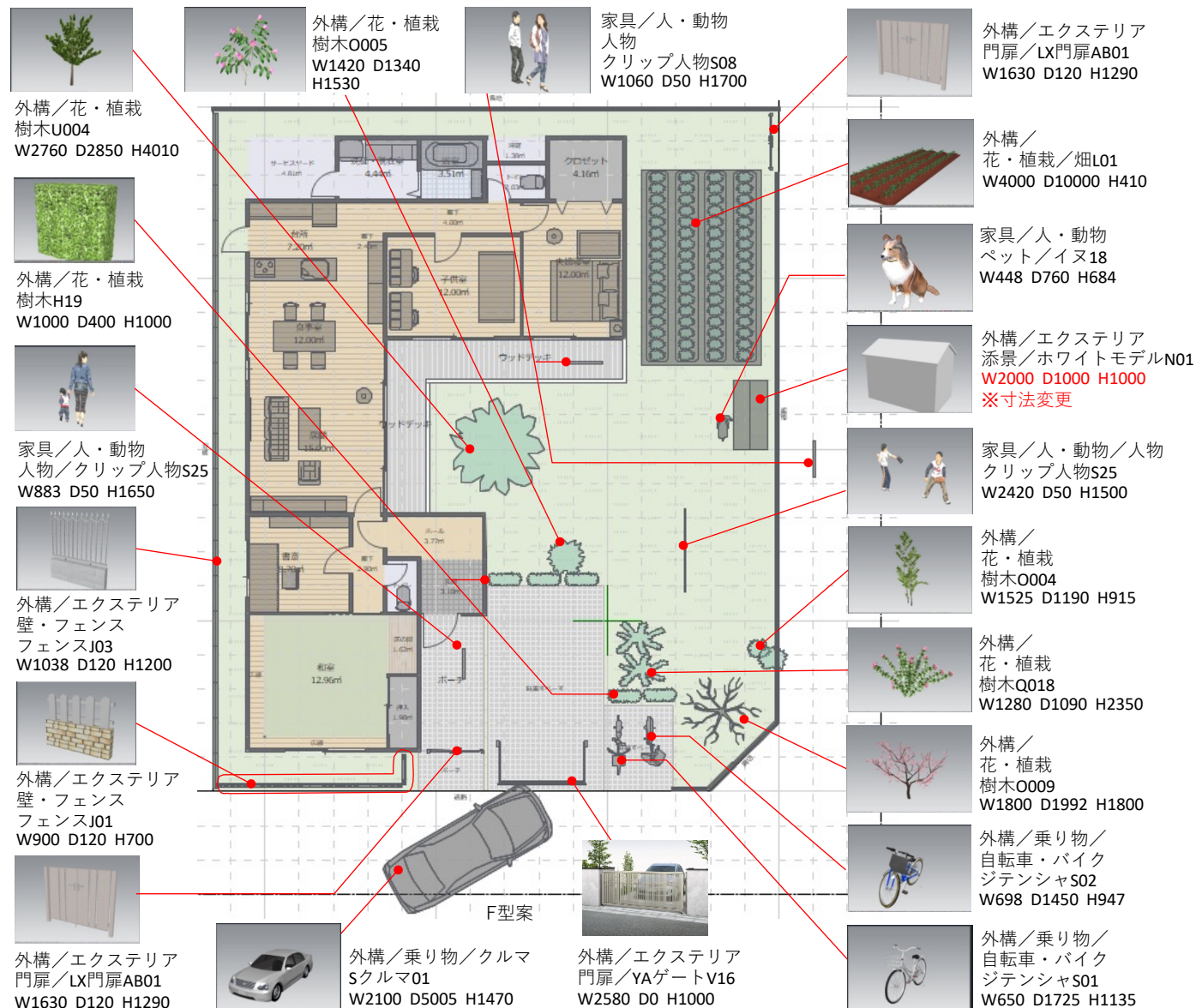
メモ

1-16 外構計画

- ① 「外構」をクリックします。
- ② 「エクステリア」 > 「門扉」 > 「LX門扉AB01」を選択します。
- ③ 作業画面の適当な位置をクリックして配置します。
- ④ 向きや位置を揃えます。



※人物やペットなどの添景は、「家具」 > 「人物・動物」から選択します

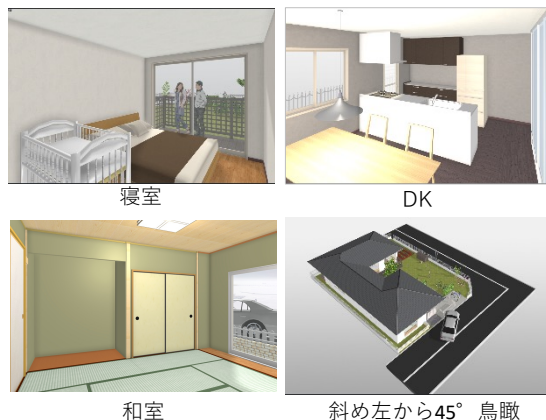


メモ

1-17 内観・外観の3Dチェック

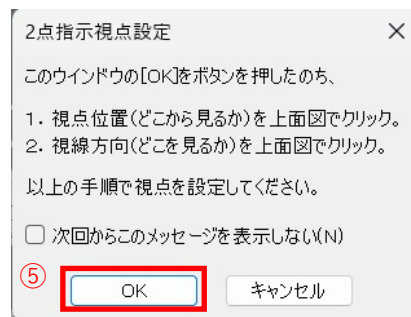
視点の操作2 内観確認

- ① 立体化します。
- ② 「内観確認」タブをクリックして内観に切り替えます。
- ③ 「現在の視点」をクリックして、一覧から見たい部屋を選択すると、視点が入ります。



2点指示による視点設定

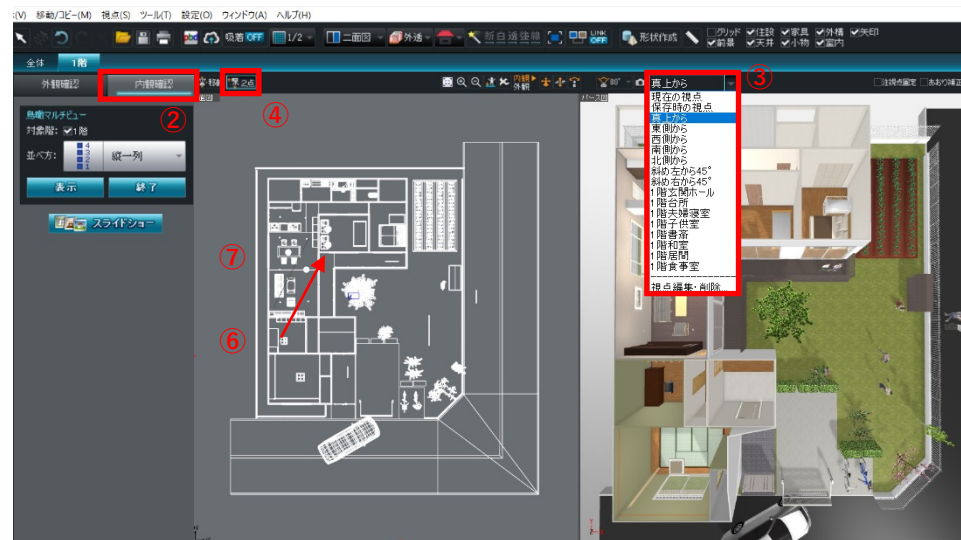
- ④ 「2点」をクリックします。
 - ⑤ 「2点指示視点設定」はOKをクリックします。
 - ⑥ 立点を指示します。
 - ⑦ 見る方向を指示します。
 - ⑧ パースが表示されます。
- 外観も同様の手順で表示させます。



⑧ 表示されたパース 居間から食堂を見る



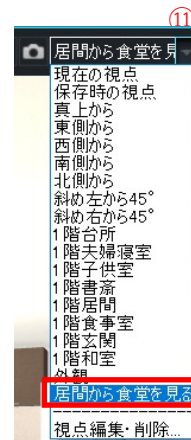
外観



視点登録

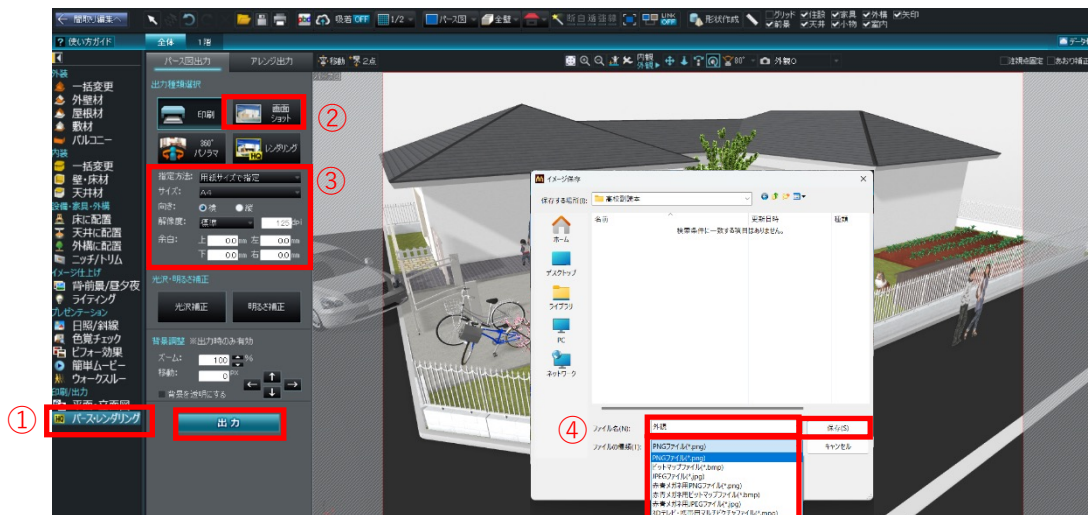
パースを登録して、呼び出せるようにします

- ⑨ 登録したいパースを表示した状態で、視点ツールの「視点登録」をクリックします。
- ⑩ 視点名を入力し、「追加」をクリックします。
- ⑪ 視点が「視点登録一覧」に追加されます。



メモ

1-18 パース・レンダリング



3D表示は、画像ファイルとして取り出すことができます。

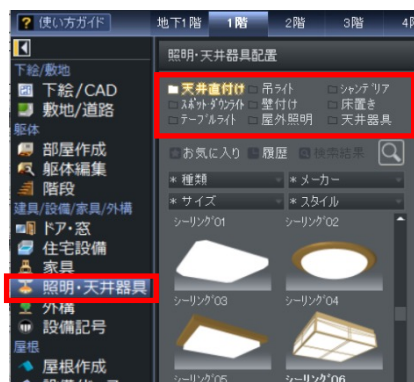
- ① 「パース・レンダリング」をクリックします。
- ② 「パース図出力」タブ>「画面ショット」を選択します。
- ③ サイズなどを指定して、「出力」をクリックします。
- ④ ファイル名を入力し、画像の種類を指定して「保存」をクリックします。

照明器具を配置

ダウンライトをベースに、その空間にあった照明器具を選びます。照明器具を配置して、レンダリングを行えば、高画質なパースを作成することができます。

- ① 「照明・天井器具」をクリックします。
- ② 照明器具の種類を選択します。
- ③ 照明器具を選択し、配置する場所でクリックします。

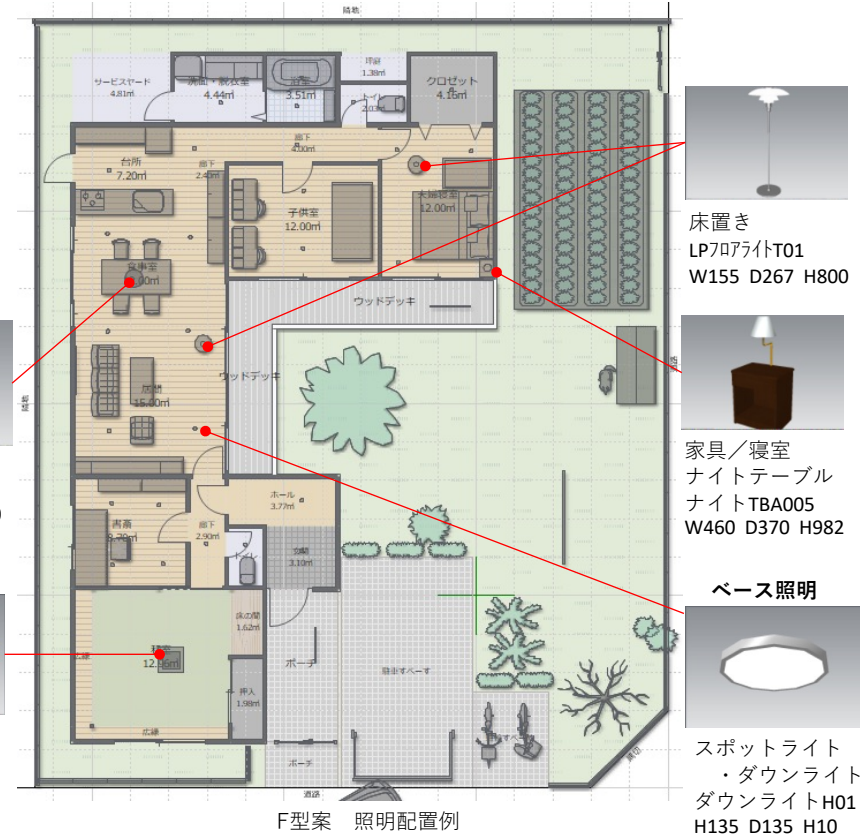
建具と同様に、「照明一括配置」で自動で照明を配置することもできます。



吊ライト
吊ライト14
H470 D470 H1140



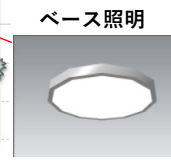
天井直付け
シーリング06
H660 D660 H135



床置き
LP70ライトT01
W155 D267 H800



家具/寝室
ナイトテーブル
ナイトTBA005
W460 D370 H982



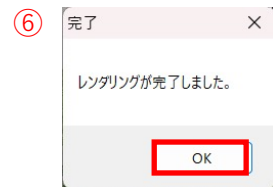
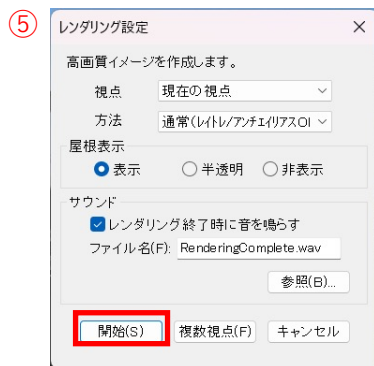
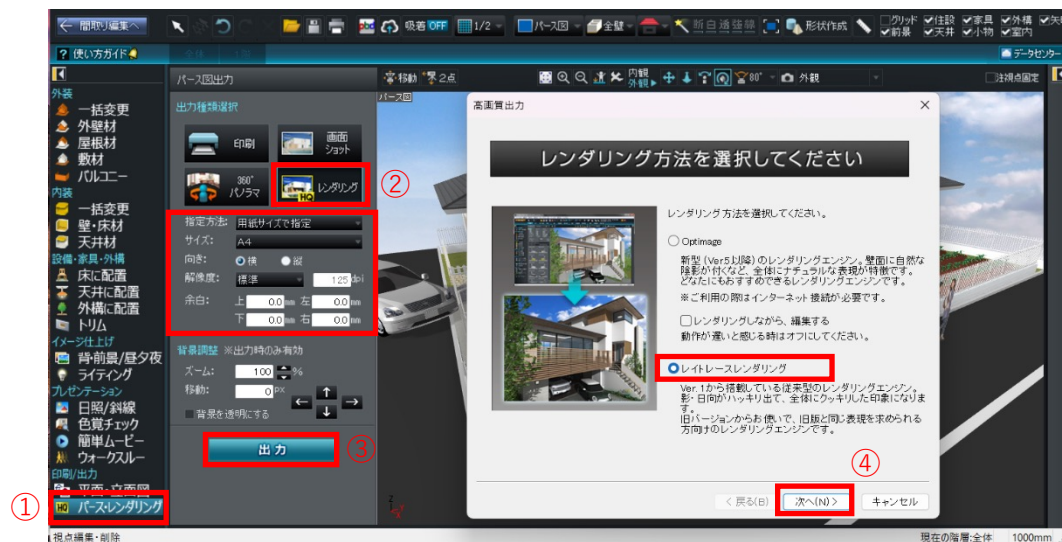
ベース照明
スポットライト
・ダウンライト
ダウンライトH01
H135 D135 H10

F型案 照明配置例

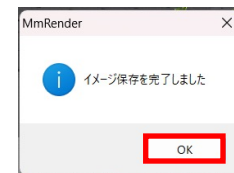
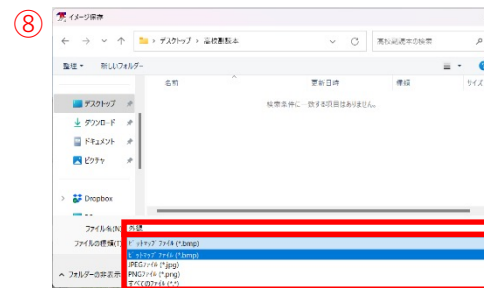
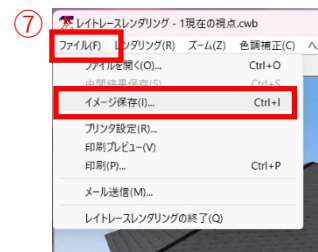
メモ

レンダリング

- ① 「パース・レンダリング」をクリックします。
- ② 「レンダリング」を選択します。
- ③ サイズなどを指定して、「出力」をクリックします。
- ④ レンダリング方法「レイトレースレンダリング」を選択し、「次へ」をクリックします。
- ⑤ レンダリング設定をして「開始」をクリックすると、レンダリングを開始します。
- ⑥ レンダリングが完了したら、「OK」をクリックします。
- ⑦ ファイルから「イメージ保存」をクリックします。
- ⑧ ファイルを保存する場所を指定し、ファイル名を付けて「OK」をクリックします。



レンダリング結果



メモ

2 チェック機能の利用

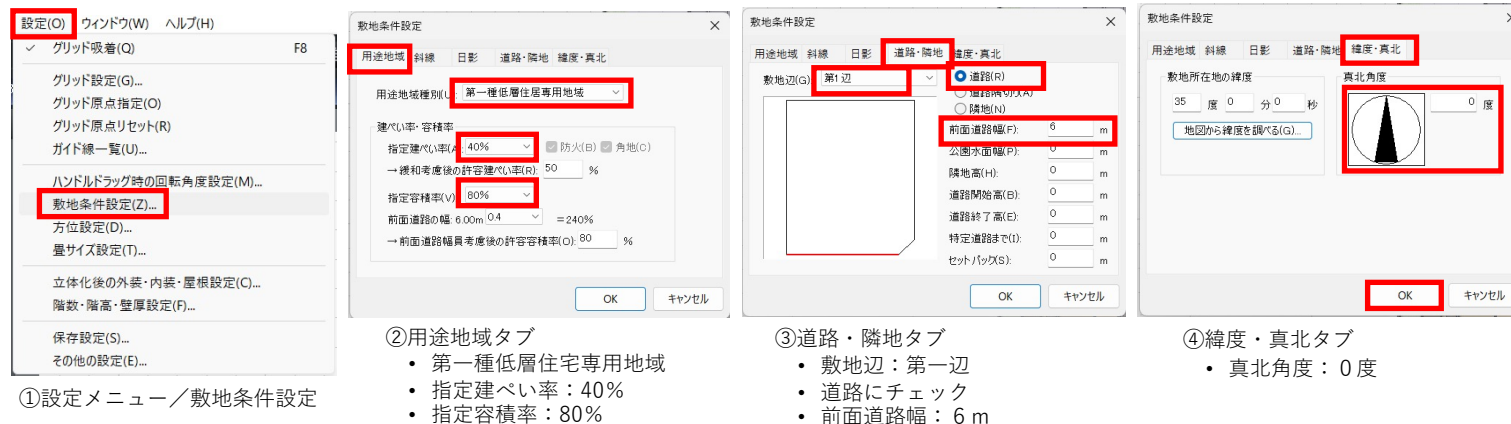
2-1 法規チェック

設定作業

- ① 「設定メニュー」から「敷地条件設定」を選択し、敷地条件設定を行います。
- ② 「用途地域タブ」で用途地域を選択し、建ぺい率・容積率を入力します。
- ③ 「道路・隣地タブ」で道路の設定を行います。
- ④ 「緯度・真北タブ」で方角を設定します。

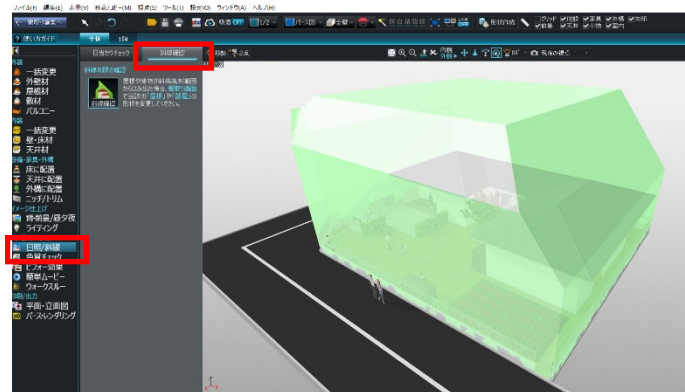
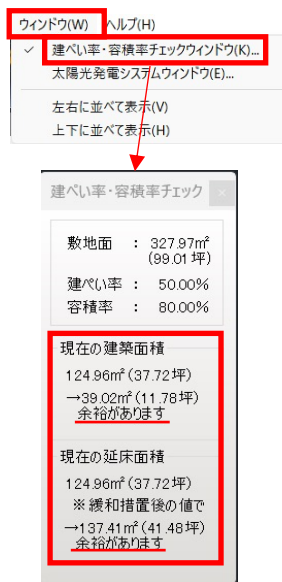
設定が終わったら「OK」をクリックします。

敷地の条件を入力することによって、計画している建築の法規のチェックを行うことができます。



チェック作業

- ⑤ 「ウインドウメニュー」から「建ぺい率・容積率チェックウインドウ」を選択すると、現在作成中の建築面積や延床面積の結果が表示されます。
- ⑥ 斜線チェックを行います。
「日影／斜線」をクリックして「斜線制限」タブを選択すると、斜線規制範囲が表示されます。
- ⑦ 斜線規制範囲からはみ出した場合は、間取り画面に戻って、引っかかっている部分の「屋根」や部屋の形状を変更します。



⑥斜線チェック

グリーンに囲まれた範囲が斜線規制範囲です。
規制範囲内に収まっているので、斜線制限に抵触していません。
ことが確認できます。



⑦斜線チェック アウト例

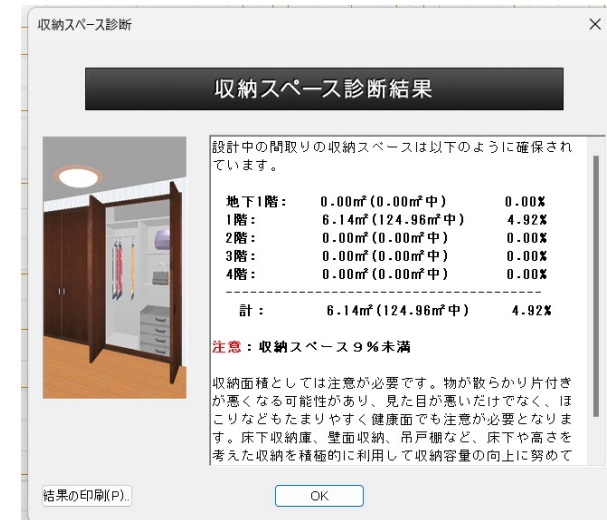
屋根の一部（赤枠で示した部分）が、斜線規制範囲からはみ出しています。
これにより、北側の斜線制限に引っかかっていることがわかります。

メモ

2-2 収納

日影・その他診断／収納スペース診断

計画中の建築の「収納スペースの診断」ができます。



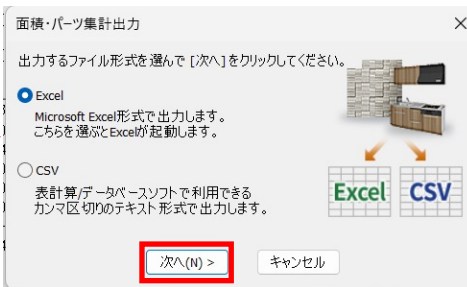
2-3 予算

日影・その他診断／建築費概算

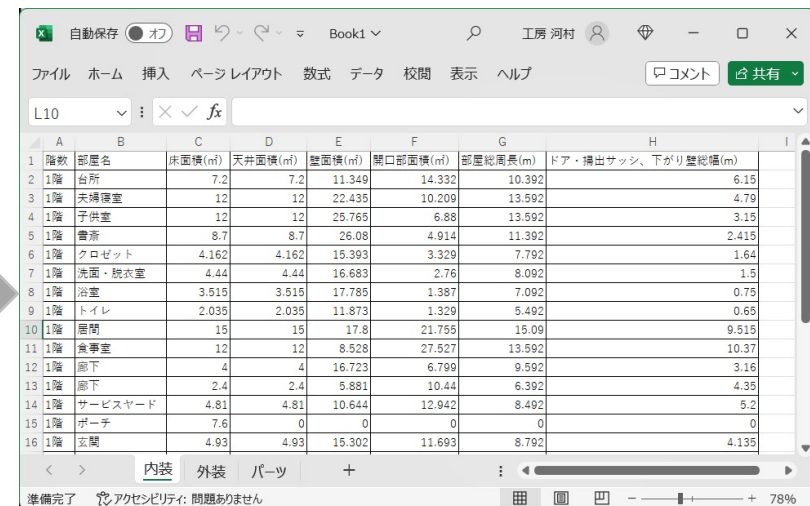
計画中の建築の概算予算を算出することができます。

面積・パーツ集計出力

工事金額を算出するときの基本データを作成することができます。



ファイル形式を指定すると、集計データが出力される

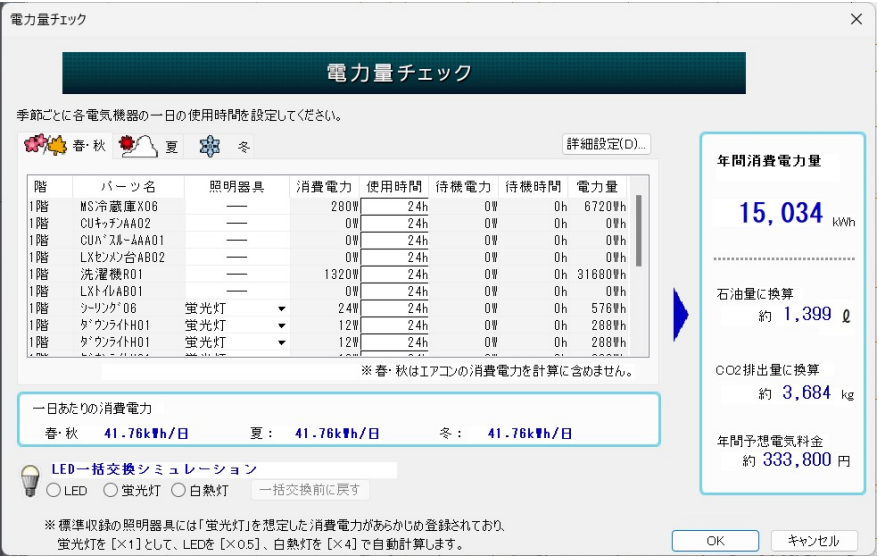


メモ

2-4 電力量／日影

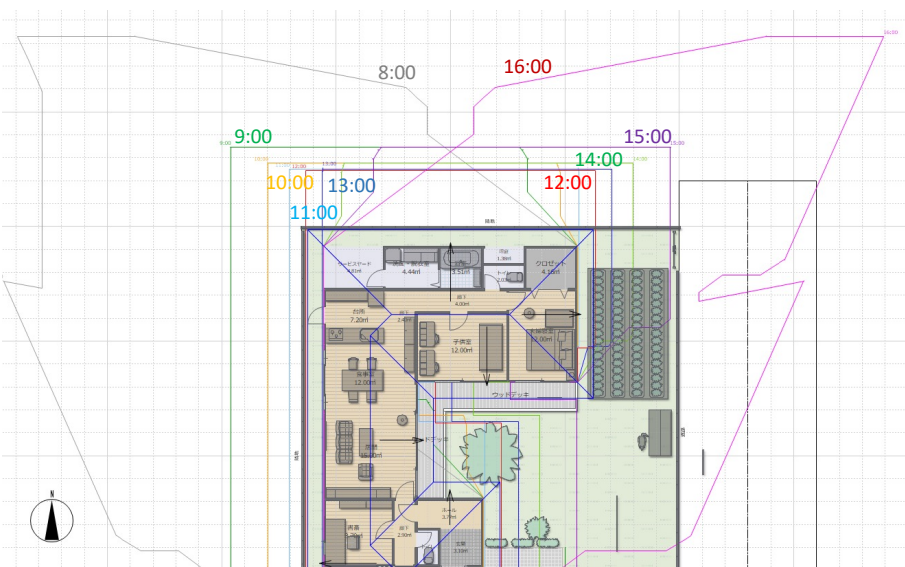
日影・その他診断／電力量チェック

計画中の建築の消費電力量をチェックすることができます。



日影・その他診断／日影図の種類を選択／時刻日影図

計画している建物の近隣への日影の影響をチェックできます。



コラム

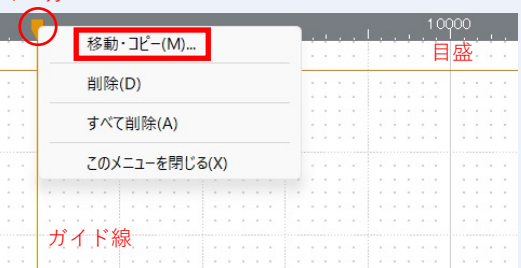
ガイド線

正確に位置を合わせたい時に、有効です。

新規ファイルを開くと、既にガイド線が縦横2本ずつ配置されています。その線を移動（またはコピー）して使います。目盛上にあるガイド線のマーカーを右クリックして、「移動・コピー」を選びます。「ガイド線の移動・コピー」で、方向、位置の指定、移動（またはコピー）を指定します。

新規にガイド線を作成する場合は、目盛上をクリックするとその位置に新たにガイド線ができます。

マーカー

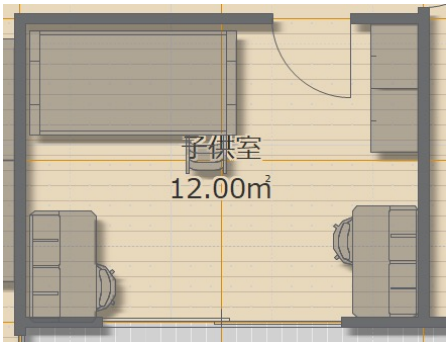

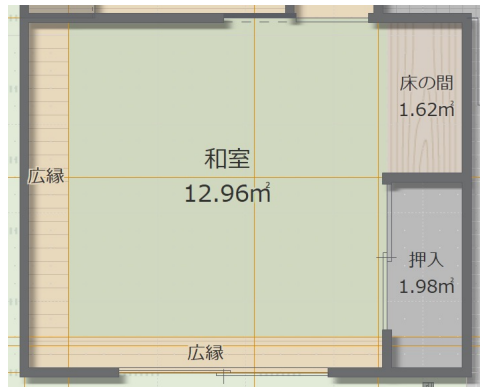
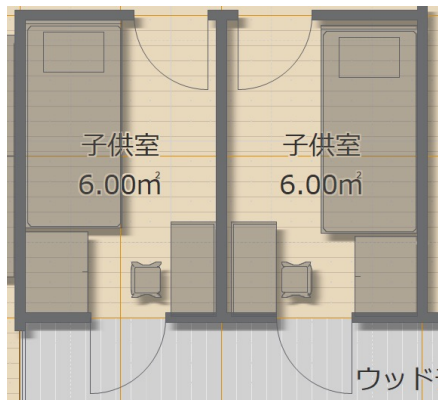

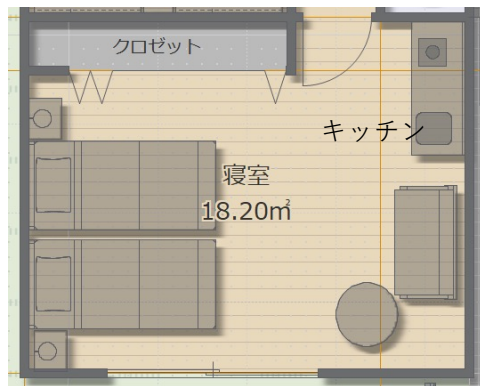


メモ

3 将来計画を検討する

3-1 ライフスタイルの変化に合わせてリフォームプラン

ここでは増築しない前提で計画しています

	子供室 (2年後) 長男入学	書斎	和室
現況	 <p>子供室 12.00㎡</p> <p>子供2人で利用</p>	 <p>書斎 8.70㎡</p> <p>両親が使用</p>	 <p>和室 12.96㎡</p> <p>床の間 1.62㎡</p> <p>押入 1.98㎡</p> <p>書道教室</p>
	6年後 子供室を2室に分割	6年後 書斎を家族で共同利用	6年後 和室を妻の父母用に改造
将来	 <p>子供室 6.00㎡</p> <p>子供室 6.00㎡</p> <p>ウッド</p>	 <p>書斎 8.70㎡</p> <p>子供が個室で引きこもりにならないように、就寝時以外は、書斎を家族4人で積極的に利用</p>	 <p>クロゼット</p> <p>キッチン</p> <p>寝室 18.20㎡</p> <p>基本的には、食事・団欒は6人家族でLDKを使用</p> <p>両親だけでも食事ができるようにキッチン付き</p>

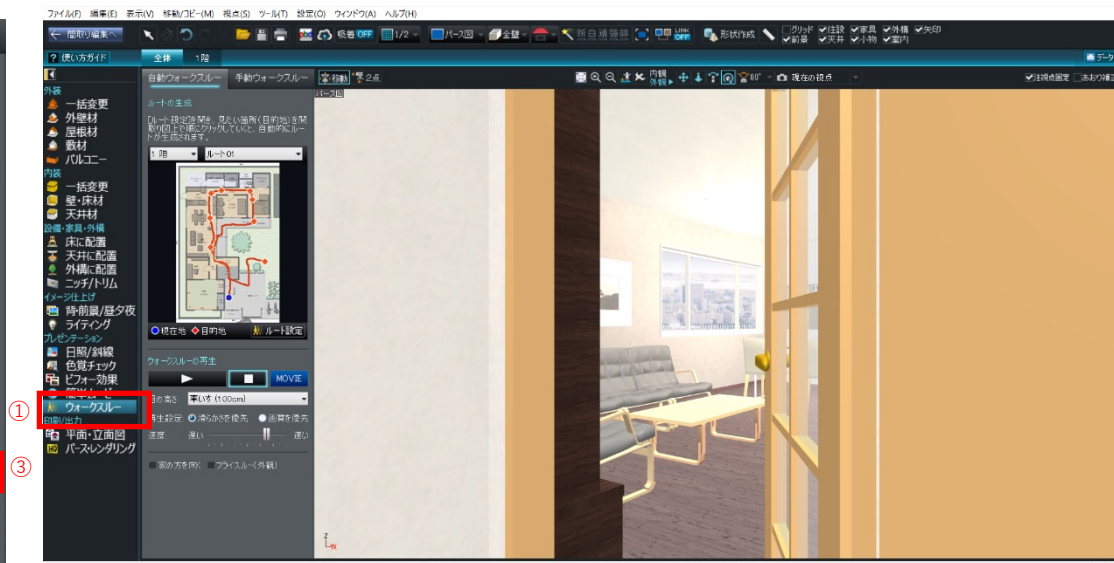
メモ

4 完成のイメージを体験する

4-1 動画

①ウォークスルー／②自動ウォークスルー／③ルートを指定／④▶再生

「ルート設定」を開き、見たい箇所（目的地）を間取り図上で順にクリックしていくと、自動的にルートが生成されます。再生すると指定したルートに視点が動き、動画を見ることができます。途中にあるドアや窓は自動で開閉します。また「MOVIE」ボタンを押すと動画ファイルを作成することができます。



玄関から居間に入ろうとしています。入り口にあるドアは自動で開閉します。

4-2 パノラマ

パース・レンダリング／パース図出力
／360° パノラマ画像出力

現在の視点または登録済みの視点から、360° 見回すことができるパノラマ画像を自動的に出力することができます。Facebookなどに投稿すれば、室内空間を上下左右360° ぐるぐる見渡せます。



360° パノラマ画像 居間～食堂

メモ

4-3 イエクラウド

作成した3Dデータを、スマートフォンやタブレットで表示できます。

- ・イエクラウド マネージャー
(Windows用データアップロードソフト)
- ・イエクラウド ビューア
(iOS/Android用データ表示アプリ)

PCから、イエクラウドサーバーへデータをアップロードします。スマートフォンやタブレットで、QRコードまたはメールに記載されたリンクを読み込むと、対象のデータが表示されます。3Dモデルは、画面上の操作で、視点を変えることもできます。



イエクラウド



登録された作品リスト



作品を選び外観表示



同インテリア登録画面



鳥瞰表示 間取りも表示可能

4-4 VR (Virtual Reality)

3Dマイホームデザイナーで作成したデータをもとに、別売のメガソフトVRソリューション（VRに必要なハードとソフトをまとめたもの）を使うと、あたかもその空間の中にいるような体験ができます。実際にその空間の中を歩くと、人の動きを正確に捉え、その視点で見える視界をリアルタイムに計算してVRゴーグルに写し出します。



メガソフトVRソリューション



メモ